

## 田園都市線・南町田駅上屋に太陽光発電システムを設置

駅上屋の一部に組み込む方式で設置するのは日本の鉄道会社としては初

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、田園都市線・南町田駅の上屋の一部に、組み込み式の建材一体型太陽光発電システムを試験的に設置しました。このような方式で太陽光発電システムを駅上屋に設置するのは日本の鉄道会社としては初めてのことです。

今回、南町田駅上屋に試験的に設置した太陽光発電システムは、W1, 100mm×H1, 892mmの太陽光発電モジュールを16枚並べたもので、最大2.83kwのシステム発電能力があり、発電された電気は南町田駅旅客トイレの電灯電源の一部として利用しています。今後は、ここで得られたデータを分析し、本格的な導入に向けた検討をしていきます。

東急グループは、1997年9月に発表した東急グループ理念体系の中で「自然環境との融和を目指した経営」を掲げており、当社ではこれを受けて1998年7月に「環境活動推進委員会」を設置し、環境活動を会社全体の統一的なテーマとして取り組む体制を整えました。その後、1999年1月に当社の環境経営方針となる「東京急行エコポリシー」を策定し、環境活動を積極的に推進していくことを宣言するとともに、同年3月には民鉄の鉄道車両整備工場としては初めてISO14001の認証を取得したり、2000年2月に本社部門でISO14001の認証取得に向けた「キックオフ」を宣言するなど、環境負荷低減に向けた取り組みを進めてきています。太陽光発電システムを試験的に導入したのも、環境負荷の少ないクリーンエネルギーとしての同システムに注目したからです。

なお、採用した太陽光発電モジュールは、2枚の強化ガラスの間に太陽電池セルを挟み込み、接着・封止した合わせガラスタイプのもので、建材としての強度・剛性をガラスの厚さで調整でき、建築構造物のあらゆる場所に取り付けることができるのが特徴です。また、基礎素材としてガラスを使用しているので採光性が高く、設置時の閉塞感が少ないことも特色となっています。

今回設置した太陽光発電システムの概要と当社環境活動の推移は次のとおりです。

## 南町田駅太陽光発電システムの概要

- 設置場所 田園都市線・南町田駅下りホーム上屋
- 大きさ W1, 100mm×H1, 892mm×16枚
- 発電能力 2.83kw p
- 重量 約52kg（モジュール1枚あたり）
- 太陽電池セル種類 単結晶（ブラック）
- 太陽電池セル形状 100mm×100mm
- 利用場所 田園都市線・南町田駅旅客トイレ電灯電源

## 東京急行電鉄の環境活動の推移

- 1997年9月 東急グループ理念体系の中の経営理念のひとつに「自然環境との融和を目指した経営」を掲げる。
- 1998年7月 「環境活動推進委員会」を設置し、環境活動を全社統一したテーマとして取り組む体制を整える。
- 1999年1月 環境経営方針「東京急行エコポリシー」を策定。
- 1999年3月 長津田車両工場が民鉄の鉄道車両整備工場としては初めてISO14001の認証を取得。
- 2000年2月 本社部門でISO14001の認証取得に向けた「キックオフ」を清水社長が宣言。

※当社では以前から、鉄道事業で軽量ステンレス車両や、回生ブレーキを他社に先駆けて100%整備してきたほか、開発事業でも昭和40年代から多摩田園都市で緑化促進のために苗木プレゼントを年2回行ってくるなど、省エネルギー、緑化などの環境への取り組みを行ってきています。

※東京急行エコポリシー

### 東京急行エコポリシー（環境に関する経営方針）

私たちは、深刻化する地球環境問題を当事者として認識し、事業運営における自然環境への負荷低減を心がけます。そして、持続可能な社会の実現と地域社会への貢献を目指すため、一企業市民として社会的責任を自覚し、全社をあげて下記の方針により環境活動に取り組めます。

1. 資源とエネルギーの有効利用ならびに自然環境への負担低減に配慮した事業を行う
2. 事業を営む地域の方々との関わりを大切にし、快適な環境の提供を通じて、地域社会へ貢献する
3. 身近な活動を通じて社員一人ひとりの環境問題への意識を高める

以上

## 参考資料

### 東急グループにおける主なISO14001取得状況

- ・ 1998年 2月 シロキ工業（名古屋工場）
- ・ 1998年10月 武蔵工業大（環境情報学部）
- ・ 1998年12月 シロキ工業（藤沢工場）
- ・ 1999年 3月 東京急行電鉄（長津田車両工場）
- ・ 1999年 9月 東急建設（技術研究所）
- ・ 2000年 3月 東急建設（本社、東京支社）
- ・ 2000年 3月 東急コミュニティー（本社管理部門）

以 上